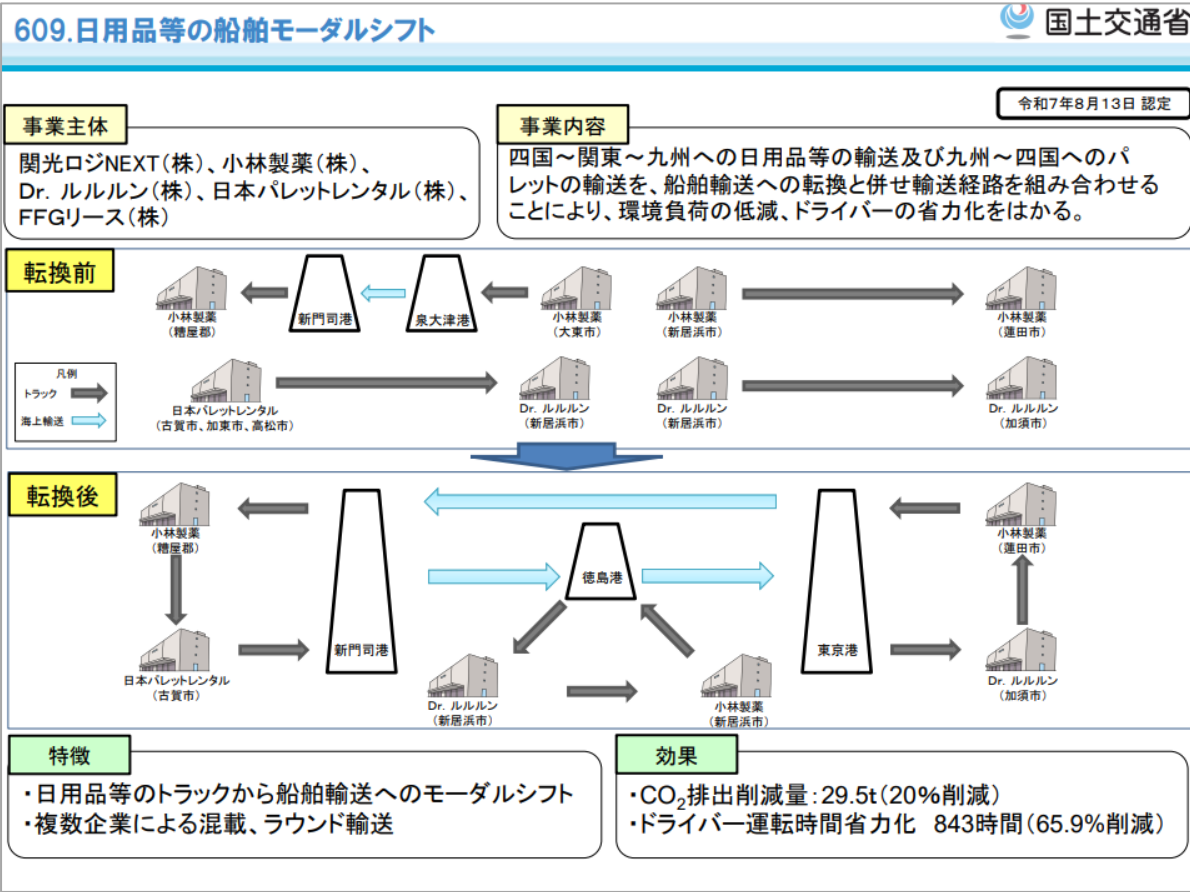


国土交通省の総合効率化計画に認定、異業種 3 社のモーダルシフト・共同輸送を開始
～混載と最適なラウンド輸送を海上輸送で対応する事で効率的輸送を実現～

日本パレットレンタル株式会社(東京都千代田区 代表取締役社長 二村篤志 以下、JPR)は、小林製薬株式会社(以下、小林製薬)、Dr.ルルルン株式会社(以下、Dr.ルルルン)、関光ロジ NEXT 株式会社(以下、関光ロジ NEXT)の各社と連携したモーダルシフト・共同輸送を、2025年 12 月 1 日(月)から開始しました。

この共同輸送は、モーダルシフトによる CO2 排出量削減やトラック運転時間の削減はもちろん、各社の製品を混載することによる積載率の向上、最適なラウンド輸送ルートによる高い実車率を実現するもので、国土交通省より総合効率化計画として認定を受けています。



共同輸送の概要(国土交通省資料より)

■ 九州・四国・関東間で、業界を超えた共同輸送を開始

共同輸送を実施するのは、九州と四国、関東を繋ぐ海上輸送ルートです。

ルート(海上輸送区間)	荷主企業(積載商品)
九州～四国(新門司港～徳島港)	JPR(レンタルパレット)
四国～関東(徳島港～東京港)	小林製薬(日用雑貨)、Dr. ルルルン(フェイスマスク)混載
関東～九州(東京港～新門司港)	小林製薬(日用雑貨)

関光ロジ NEXT が全行程の輸送を行い、海上輸送はオーシャントランス株式会社の北九州⇄徳島⇄東京航路を利用。

■高い積載率と 14m トレーラーの有効活用

小林製薬、Dr.ルルルの四国発関東向けの輸送は、出荷ロットが 20t トレーラー単位に纏まらないと、積載効率が上がりず輸送コストの面からも、海上輸送ができず陸送輸送を行わざるを得ないという課題がありました。

そこで、今回の取り組みでは、従来各社で手配していた陸送輸送分の輸送を 14m セミトレーラーに変更し混載する事で、コストを抑えつつ海上輸送へシフトすることに成功しています。

■輸送ルートのマッチングにより、実車率 99.4%を実現、CO2 排出量は 20%低減、ドライバーの労働省力化 65.9%

この取り組みでは、3 社の輸送をマッチングし、物流拠点を効果的に回することで、99.4%の高い実車率を実現できます。また船舶へのモーダルシフトや輸送の効率化により個社単位での輸送と比較し、年間で CO2 排出量が約 29.5t(20%)低減します。併せて、長距離の陸送を海上へシフトすることで、ドライバーの年間の稼働時間が約 843 時間(65.9%)削減できると想定され、労働環境の改善効果も期待できます。

■物流効率化法に基づく総合効率化計画認定

今回の取り組みは、国土交通省より総合効率化計画として認定を受けています。

詳しくはこちらをご参照ください。

< 物流効率化法の認定状況(国土交通省)>

<https://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/freight/content/001976167.pdf>

< 物流効率化法に基づく総合効率化計画認定の制度について(国土交通省)>

<https://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/freight/bukkouhou.html#section-2>

■今後の展開

近年の物流業界は、ドライバー不足や物流費の上昇、CO2 削減等、様々な問題を抱えており、効率的な輸送ルートの構築や、モーダルシフトの一層の進展が期待されています。積載製品の輸送ルートとパレットの供給ルートが重ならない場合、両者の組み合わせによって往復やラウンドをするルートを形成できる機会となりうることから、JPR は幅広い企業と共同輸送の取り組みを推進していきたいと考えています。

■本件に関するお問い合わせ先

日本パレットレンタル株式会社 広報部 広報グループ 那須

Tel: 03-6895-5215 / Mail: pr@jpr.co.jp / URL: <https://www.jpr.co.jp>